

地域循環共生圏の形成促進に向けた視察と意見交換会

～一般社団法人Spedagi Japanの先進的な取組について～

中国地方各県で「地域循環共生圏」に資する団体の皆様とお互いの活動について視察や情報交換を実施し、更にパートナーシップを拡げていくため山口市の阿東徳佐地区で先進的な活動をされている「スペダギジャパン」の明日香健輔氏より全面的なご協力いただき、視察と意見交換会を開催しました！



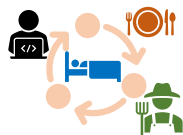
一般社団法人Spedagi Japan (スペダギジャパン) Spedagi Ato・阿東文庫
(〒759-1511山口県山口市阿東徳佐上1133 旧 亀山小学校)



本業はIT会社経営。移住後仕事が無い時期にも、地元の農業を手伝うなど全く焦燥感や不安感も無く、寝る場所と食料があれば、こんなにも心強いのだという事を実現。

今は自称「複業家」

- ・本業 (IT)
- ・副業 (薪ストーブ販売)
- ・営農法人で農業の手伝い (米や野菜の現物支給)
- ・家業 (地元老舗和菓子屋を妻が継承)
- ・事業 (阿東文庫・Spedagi Ato)



地域でサステナブルな活動をする課題の一つとして、どう稼いで生活するかは絶対に避けられない。例えば山口市の中山間地域で移住子育て世帯が生活するためには…

- ①自分で仕事をつくる。
- ②自分で仕事を持ってくる。

目標

視察を通して取組の特徴や可能性を理解する。
地域循環共生圏の形成促進に向けた課題や支援策を整理する。
交流や相互啓発を通してノウハウを学びあう。

「Supedagi (早朝=Sepeda 自転車=Pagi に乗るという意味)」

都市化に伴い、村が衰退する問題が今世界中で起きている。この問題に対して危機感を感じたインドネシアの若きデザイナー、シンギー氏が仲間と共に地域おこしのために立ち上げたソーシャルデザイナープロジェクト。自転車のフレームなど主要部品に、村に豊富に自生する「地域の天然資源(竹)」を有効活用したバンパーバイク(自転車)や、自ら設計して様々な施設を建設するなど「自分達でつくる」活動。早朝自転車に乗って村を巡り、村人たちが抱える様々な社会的課題の相談に乗り、デザインの視点からのアドバイスを提供したり、地域の伝統文化の継承など多方面で活動している。

過疎地域の課題解決策を探るために2014年に村を元気にする会議であるICVR (International Conference on Village Revitalization) を開催し、以降2年に一度インドネシア国内外で開いている。
2016年度の第2回は山口県の阿東地区で開催された。



自転車は、とても精巧に出来ており、とてもセンシティブである。法的にとてもグレーな部分が多く事故のリスクも含めて、日本で自分たちが造った自転車に乗るには、メカニク的にも乗り越えなければならない課題がある。

S=small, L=local, O=open, C=connect, D=diversity
サステナブルの世界的な基本ワードの最後に「D」をつけて『SLOCD』と考えている。

「若さ」と「人材」が地域課題の一つ。年齢に関係なく人々が動き、混ざり合い、限られた国土を有効活用してゆくために、地域ごとに特徴的な資源を活かした文化を育てて行くことを目的として、豊富に自生する竹の材を自転車のフレームに有効利用するなど、再生と循環をキーワードにしたデザイン開発、地球レベルで持続可能な文明を作り上げるという世界の合意に沿った地域社会の在り方を提案している。

【参加者からの声】

- ・地域を良く知る事が重要と気付いた
- ・課題は若さと人材 (ツールが自転車)
- ・カッコいい大人は本業をして社会貢献
- ・若者のエネルギー → 「任せる」大切さ
- ・地域住民・他団体との関係は？
- ・来年の事業に向けた課題は？
- ・「オープン・コネクト」の具体方法は？
- ・地域の資源をうまく循環させ、他地域に繋げていくことが重要
- ・阿東地域にあまり関係のない方々が進められているところが良い など

一般社団法人Spedagi Japan、阿東文庫 代表：明日香 健輔 氏

旅する羊毛：Kaku Denko 氏

山口市地域おこし協力隊：湯澤 慧 氏

山口市地域おこし協力隊 (道の駅 長門峡を活用した地域活性化)：竹友 美樹 氏

認定NPO法人西中国山地自然史研究会 事務局次長：河野 弥生 氏

認定NPO法人西中国山地自然史研究会 芸北せとやま再生事業担当：曾根田 利江 氏

認定NPO法人自然再生センター 専務理事・事務局長：小倉 加代子 氏

環境省中国四国地方環境事務所 広島事務所長：原田 幸也 氏

〃 広島事務所 環境対策課 地方環境対策調査官：黒川 祥之 氏

山口県 環境生活部 環境政策課 環境企画班 主任：恵本 佑 氏

山口市 地域生活部 定住促進課 中山間地域担当 副主幹：浅野 真司 氏

山口市 環境政策部 環境政策課 環境共生担当 主幹：伊藤 貴博 氏

山口市 阿東総合支所 地域振興課 主幹：藤山 正直 氏

中国環境パートナーシップオフィス：事務局長 松原、西村



地域循環共生圏の形成促進に向けた視察と意見交換会

～一般社団法人Spedagi Japanの先進的な取組について～

『地域循環共生圏』の形成を推進するため、地域での「環境」「社会」「経済」の循環を見える化することを旨として、阿東徳佐地区での先進的な取組「Spedagi ato」のプロジェクトを理解し、学びやノウハウを他地域でも活かすために学び合い、これから中国地方で取組を広めるために必要な課題を整理し、更にそのパートナーを拡げていく事を目的として、

スペダギジャパンの明日香健輔氏より全面的なご協力をいただき、意見交換会を開催しました！

一般社団法人Spedagi Japan (スペダギジャパン) Spedagi Ato・阿東文庫
(〒759-1511山口県山口市阿東徳佐上1133 旧 亀山小学校)



湯澤 氏

広島県呉市出身。自転車の専門学校で整備～制作設計までを3年間学び、自転車を自分でデザインして作る事ができる。卒業後、山口市の地域おこし協力隊に就任し阿東へ移住。山口大学の学生達との協働プロジェクト「廃校カフェ」では廃校を独断で修理したり、バンブーバイクの試乗や阿東地区サイクリングのイベント等を実施。また、切った竹で製品の試作などの活動をしている。地域おこし協力隊卒業後はこれらを生業にしたい。



上村 氏

広島県安芸郡府中町出身。山口大学言語文化学科を卒業し、すぐに阿東地区の地域おこし協力隊に着任。「地域の生産品PR」「消しゴム版画家」「阿東文庫 廃校カフェ 喫茶かめやま」SNSでの情報発信や広報資料作り、消しゴム版画ワークショップなど様々な活動をしている。地元住民との顔が見える繋がりを活かして、地域の魅力を魅力的に伝える仕事をしていきたい。



コミュニティが壊れていくことによって、簡単に通る話を通らなくなるのが地方。行政に何か提案しても、田舎は誰かひとりダメだという人がいたら通らない。行政に依存している間はそこから解き放たれない。だから誰も手伝ってくれなくても自分達で責任をもってやる。行政の方が後から追いかけて支援してくれるのが今からのスタイル。

同じ阿東で「徳佐」の隣にある地福地区(人口約1200名位)で「ほほえみの郷トイトイ」という地域拠点を運営。平成22年2月地福に唯一のスーパーが閉店した事がきっかけで立ち上がった。行政が悪いとか○○が悪い、誰かが悪いという「人のせい」になっていったのが当時の地福地域だった。



高田 氏

「穴が開いたから穴を埋める」という対処的なアプローチから「穴は今から開くだろう」と受け入れた上で「なぜそういった課題が出てくるのか」を見極め、原因を掘り起こし、人口は減少しても地域が安心して暮らせるような「そもそもの課題」を解決するという仕組みづくりが大切。

地域の課題が増えるのは、地域のピンチであり過疎高齢化というマイナスのイメージだが、課題が増えるとニーズが増える。ニーズが増えると、ビジネスの世界では「新しいマーケットができる取組のチャンス」。先入観を捨てて将来ビジョンを地域の皆さんが主体的に描いて「自分達の故郷の未来はこうありたい」とイメージできるような地域で、あらゆる世代が地域で輝けることが、地域の持続性を高めるため一番大切。「共感による繋がりを生み出す」という認識。



豊田 氏



環境

手法・取組	効果・成果
<ul style="list-style-type: none"> 国境を越えたグローバルな連携 地域の自然資源(竹)を活用したサステナブルなものづくり(自転車など) 車に乗らない自然に優しい取組との連携 エコリズム(自転車ツアー) 環境学習 廃校利用(阿東文庫・カフェ) 	<ul style="list-style-type: none"> 大企業と差別化したモノづくり 新たな価値観や可能性の発見 環境や先端技術への新求力 竹林整備(健全な森林竹林造営) 物への愛着(手作りの思い出) エコロジーの意識の向上 健康生活 生物多様性の保全 地域資源の保存

社会

手法・取組	効果・成果
<ul style="list-style-type: none"> 新たな価値観や暮らしの創出 地域おこし協力隊との連携 地域住民や若者主体のイベント開催 住みかたづくり 若者のチャレンジの場の提供 地域内外の交流 廃校カフェ 喫茶かめやま 地域のガイド(サイクリング) 異文化交流 国際交流 SNS等による広報 阿東にオープン 世界とのNW拡充 外国人集客のための仕組みづくり 物作りの魅力発信(竹の素材) 	<ul style="list-style-type: none"> 地域からの理解 地域力の向上 高齢者や若者が、子ども⇒自営業 文化の循環継承にぎわいの創出 社会への問いかけ 関係人口の増加 大学生・外国人増加 住民の意識変化 技術の交換学習 情報の拡散 地域の活性化 興味対象者の増加 関係者同士の交流 地域肯定感UP 国際会議開催 自転車企業と連携 職人の育成 未来への選択投資

経済

手法・取組	効果・成果
<ul style="list-style-type: none"> 新たな差別化 要因の掘り起こし(世界へ地域) 観光客の増加 自然に優しい経済 地域外からの消費者増加 働く場の創出 リピーター獲得(有償で技術提供) 地域財産の創出 働き甲斐の創出(レンタルサイクル) 地域コミュニティ 信頼関係 共感 モノ消費から「体験・生き方・理念」消費へ 社会への問いかけ 「資本は金のみか」 	<ul style="list-style-type: none"> 経済波及効果 インバウンド 観光客の増加 自然に優しい経済 地域外からの消費者増加 働く場の創出 リピーター獲得(有償で技術提供) 地域財産の創出 働き甲斐の創出 地域コミュニティ 信頼関係 共感 モノ消費から「体験・生き方・理念」消費へ 社会への問いかけ 「資本は金のみか」

皆、根っこの部分が気持ちは一緒なんだということが印象に残った。若者がやりたい事が出来るような場があれば、老若男女問わず地域で暮らしていくことが出来る。マーケティングは、安さではなく何に(コミュニケーション、環境など)お金を払ってくれるかの見極めが重要。地域に密着して顔が見える活動し、出来るところから丁寧に少しずつ課題を埋めていく事で今後の発展に繋がっていく。



一般社団法人Spedagi Japan、阿東文庫 代表：明日香 健輔 氏
一般社団法人Spedagi Japan 理事：益田 文和 氏
NPO法人環境保全教育研究所 代表理事：豊田 菜々子 氏
山口市地域おこし協力隊：湯澤 慧 氏
山口市地域おこし協力隊：上村 美樹 氏
NPO法人ほほえみの郷トイトイ 事務局長：高田 新一郎 氏
八代めぐもりの里(廃校サミット代表)：中村 久氏
榎野川干潟再生協議会 理事(山口県自然保護課)：上原 正義 氏
認定NPO法人西中国山地自然史研究会 事務局次長：河野 弥生 氏
NPO法人ほしはら山のがっこう 副理事長：浦田 愛 氏
：上原 仁美 氏
NPO法人やまぐち県民ネット21・事務局長：伊藤 彰 氏
山口県 環境生活部 環境政策課 環境企画班 主任：恵本 佑 氏
経済産業省 四国経済産業局 総務企画部 部長：永見 靖 氏
環境省 中国四国地方環境事務所 広島事務所長：原田 幸也 氏
広島事務所 環境対策課 地方環境対策調査官：黒川 祥之 氏
中国環境パートナーシップオフィス 事務局長：松原・西村